

UNION PRESS

埼玉大学教職員組合 No.1 (2021年5月号)

2021年の度活動方針

新執行委員長の宮崎です。自己紹介は後でいたしますが、はじめに今年度の活動方針について述べておきたいと思います。2021年4月に発足した新執行部は、今年度次のことに力を入れていきたいと考えています。

- ◇ 教職員が新型コロナウイルスに感染しない労働環境を作る
- ◇ 教職員が置かれている労働環境を把握し、改善していく
- ◇ インターネットを活用した組合員同士の交流と情報宣伝活動を行う

第1に、未だ感染拡大が収まっていない新型コロナウイルスに教職員が感染しないような労働環境が作られるよう、大学側に求めていきたいと考えています。組合にも組合員の方などから様々な声が寄せられていますが、相当な不安を抱えている方もいらっしゃいます。そうした声に耳を傾けながら、業務に起因した感染=労働災害が起こらないよう組合としてできることに取り組んでいきます。

第2に、教職員が抱えている問題を個別相談のみならず、アンケートなどの手法によって把握し、大学側に改善を求めていきたいと考えています。個別相談の内容にはかなり深刻な問題も含まれています。中には法的にも問題となるケースも存在しており、そうしたものは何とか是正していきたいと考えています。

第3に、新型コロナウイルスの感染拡大の中で、組合員同士の交流や組合からの情報発信がかなり制約されています。こうしたことを踏まえ、これまで以上にインターネットを活用してこれらの活動に取り組んでまいりたいと考えています。

労働社会学者の木下武男は『労働組合とは何か』(岩波新書)で、日本で労働組合の力が極端に弱い理由は闘う意欲の問題ではなく、日本の労働組合が「本当の労働組合」=世界標準の産業別組合ではなかったからだと述べています。確かに指摘の通りだと思いますが、埼玉大学教職員組合は、大学内の教職員組合として「闘う意欲」を失わず、労働環境の改善のために努力してまいりたいと思います。

～新役員紹介～

◆宮崎 雅人(みやざき・まさと、執行委員長、経済学部)

このたび執行委員長を拝命いたしました経済学部の宮崎です。執行委員は2度目で、前は2014年度に書記長を務めました。前は年俸制導入をめぐる組合の力のなさを痛感いたしました。組合としてできることは限られていることも事実ですが、組合が動くことによって解決される問題があることもまた事実です。難しい問題の解決も諦めず、粘り強く取り組みたいと考えておりますので、1年間よろしくお願いいたします。

◆中川 律(なかがわ・りつ、書記長、教育学部)

執行委員を務めるのは二回目ですが、今回ははじめて書記長を拝命いたしました。専門分野は憲法です。本年度は、引き続きコロナ禍における活動となりますが、組合員に、組合の活動をより見えやすくし、その意義を感じてもらうことを目標とします。甚だ力不足ですが、書記長として、できるだけしっかり執行部の活動を支えていきたいと考えています。

◆島田 玲子(しまだ・れいこ、副委員長、教育学部)

今年度、副委員長を拝命いたしました。これまでに副委員長と委員長を各1回務めており、3回目の執行委員です。普段の私は教育学部で家庭科教員の養成を行っています。家庭科は生活を科学する学問ですので、衣食住はもちろん、時間やお金の管理、家族関係など身の回りの物事すべてが研究対象です。私たちの生活を快適にするという研究の目標は組合活動と通じるところもあり、埼玉大学が働きやすい環境になるよう1年間がんばります。

◆川野 靖子(かわの・やすこ、副委員長、教養学部)

今年度、副委員長を務めることになりました、川野靖子と申します。所属は人文社会科学研究科(教養学部)で、専門は日本語学です。日本語の文法を研究しています。2011年度に埼玉大学に着任して以来10年間、働きやすさを日々実感しながら過ごしてまいりました。組合員としては新米ですが、皆様のご指導を仰ぎながら1年間頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

◆渡辺 大輔(わたなべ・だいすけ、広報 UP、基盤教育研究センター)

埼玉大学に着任して8年目となりました。埼玉大学への愛着も年々増しております。私の専門がジェンダー・セクシュアリティ教育ということもあり、これまで学生だけではなく教職員のみならずもいくつかジェンダーやセクシュアリティに関する声をいただきました。微力ではありますが、今後も埼玉大学を構成する私たちがより働きやすい環境をつくっていくことにも尽力いたします。よろしくお願いいたします。

◆平泉 春美(ひらいずみ・はるみ、非常勤職員部)

教育学部支援室に長く(かなり)勤務しておりますが、組合に入ったのはこの数年です。念願の非常勤の無期転換、昨年同一労働同一賃金の原則での期末手当支給が実現して、こういったことがハタラク意欲の原動力ともなり、感謝と共に益々埼玉大学が働きやすい環境だと実感しております。春の寄せ植え会はコロナ関係で延期しますが(楽しみにしていた方々すみません)、職員同士が知り合えるきっかけとしても、参加いただけたらと思います。

◆寺田 礼子(てらだ・れいこ、組合事務)

引き続き組合の事務をさせていただきます。日々、出会う人達や仕事にやり甲斐を感じています。今年の新執行委員は6人中5名が経験者で、4月着任後すぐに色々な課題に取り掛かっています。是非、コロナ禍での実行力と知恵と思いやりのある新組合チームにご注目ください。コロナが落ち着いたら盛大で楽しい交流会をしましょう!!

埼玉大学教職員組合 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 255 第2生協1階

E-mail: saikyoso@gr.saitama-u.ac.jp URL: <http://kumiai.client.jp/>

電話/FAX : 048-853-5609 (内線) 3160

生協第2食堂・理髪店の奥